

感染症大全

～病理医だけが知っているウイルス・細菌・寄生虫のはなし～

目次

はじめに p.001

第1章 ヒト 感染症の歴史秘話

新型コロナウイルスの世界的流行でわかったこと p.014

メディアの報道や政局が被害を大きくも小さくもする p.019

消毒の父、ゼンメルワイスの悲劇 p.024

▼ コラム 正しい手洗いの実践と手洗い歌 p.030

病理学者、初のノーベル賞への道のり p.034

みえなかったピロリ菌 p.036

▼ コラム 世界保健機関（WHO）のロゴマークのヘビの謎 p.038

1964年の東京オリンピックと感染症 p.040

赤痢菌やコレラ菌はなぜ先進諸国で弱毒化しているのか p.042

ノーベル賞受賞の特効薬、イベルメクチンの発見 p.045

エボラ出血熱に挑む医療者の勇気と現実 p.048

エボラ出血熱患者が日本の私立病院に入院したら p.051

▼ コラム 日本最初の院内感染 p.054

第2章 病原体・感染症 Q & A

病原体と感染症を正しく理解するために p.056

病原体とは何ですか？ 人体にどのような影響を及ぼすのですか？ p.057

人体に棲んでいる菌にはどのようなものがありますか？ その影響は？ p.060

感染症はどのようにして人にうつるのですか？ p.064

▼ コラム 飛沫感染と空気感染の違い p.069

潜伏期間ってどういうこと？ p.070

ペットからうつる感染症はあるのですか？ p.072

世界的にみた場合、感染症の状況はどうなっているのでしょうか？ p.076

- 感染症と伝染病の違いは何でしょうか？ p. 079
- 「パンデミック」とはどういう意味ですか？ p. 082
- がんも感染症と聞きましたが、本当でしょうか？ p. 083
- 感染症の診断は、どのように行なわれるのでしょうか？ p. 085
- 感染症を特定するために使われる顕微鏡診断とは？ p. 089
- ▼ コラム レーベンフックの顕微鏡 p. 092
- よく耳にするワクチンとは、感染症の特効薬みたいなものですか？ p. 093
- 感染症の治療はどのように行なわれるのでしょうか？ p. 096
- ▼ コラム 歴史に残るポリオワクチン導入大作戦 p. 099

第3章 日常に潜むウイルス、細菌、カビの巻

- 1 インフルエンザウイルス p. 101
- 2 日本紅斑熱リケッチア（リケッチア・ジャポニカ） p. 109
- ▼ コラム 日本紅斑熱を発見した開業医、馬原文彦先生 p. 113
- 3 ミュータンス菌 p. 114
- 4 サルモネラ p. 117
- ▼ コラム 平安時代の人々も悩まされたサルモネラ p. 120
- 5 肺好性レジオネラ（レジオネラ・ニューモフィラ） p. 121
- 6 人喰いバクテリア症① 溶血性レンサ球菌 p. 126
- 7 人喰いバクテリア症② ビブリオ・ブルニフィカス p. 130
- 8 常在菌による壊死性筋膜炎 p. 133
- 9 ガス壊疽菌 p. 137
- ジフテリア菌 p. 141
- 髄膜炎菌 p. 146
- 結核菌 p. 151
- 10 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA） p. 156
- トリコフィトン・トンズランス（白癬菌） p. 160
- ▼ コラム スリッパからの院内感染に注意！ p. 164

第4章 寄生虫症の恐怖の巻

- 1 原虫類① アカントアメーバ p. 166
- 2 原虫類② クリプトスポリジウム・パルヴム p. 170
- 3 原虫類③ リーシュマニア・ドノヴァニ p. 174
- 4 原虫類④ 皮膚リーシュマニア原虫 p. 177

- 5 原虫類⑤ 熱帯熱マラリア原虫 p. 180
- ▼ コラム パナマ地峡開発によるマラリアと黄熱病の犠牲者 p185
- 6 線虫類① アニサキス幼虫 p. 187
- 7 線虫類② 旋尾線虫の幼虫 p. 192
- 8 線虫類③ 回虫 p. 196
- 9 線虫類④ 蟯虫 p. 201
- 線虫類⑤ 糞線虫 p. 296
- ▼ コラム 糞線虫症の特効薬 p. 211
- 線虫類⑥ 非病原性線虫の幼虫 p. 212
- 線虫類⑦ 広東住血線虫線虫類 p. 213
- 線虫類⑧ 顎口虫線虫類 p. 220
- 線虫類⑨ 動物性回旋糸状虫（オンコセルカ） p. 225
- 線虫類⑩ イヌ糸状虫（イヌフィラリア） p. 229
- 吸虫類① 肝蛭 p. 232
- 吸虫類② 横川吸虫 p. 235
- 吸虫類③ ビルハルツ住血吸虫 p. 238
- ▼ コラム 住血吸虫対策の裏表 p. 243
- 吸虫類④ トリ住血吸虫の幼虫（セルカリア） p. 246
- 吸虫類⑤ 宮崎肺吸虫 p. 250
- 条虫類① 日本海裂頭条虫（サナダムシ） p. 254
- 条虫類② マンソン孤虫 p. 259
- 条虫類③ 有鉤囊虫（有鉤条虫の幼虫） p. 263
- 条虫類④ エキノコックス（多包条虫） p. 266
- ▼ コラム 礼文島から撲滅されたエキノコックス症 p. 269
- 節足動物① ゴエア（エビやカニの幼生） p. 271
- ▼ コラム サーファーやダイバーに多い納豆アレルギー p. 274
- 節足動物② ニキビダニ（毛包虫） p. 275
- 節足動物③ チリダニ p. 278
- 節足動物④ 疥癬虫（ヒゼンダニ）角化型疥癬 p. 281
- ▼ コラム 歴史を変えた疥癬の話 p. 284
- 節足動物⑤ アタマジラミ（虱） p. 286
- 節足動物⑥ ウジ虫（ハエの幼虫） p. 290
- 節足動物⑦ オオチョウバエの幼虫 p. 293
- ▼ コラム 尿にみつかったヒルガタワムシの謎 p. 296

第5章 驚きの性感染症の巻

- 1 子宮腔部の細胞診標本 p. 298
- 2 ガードナー菌 p. 302
- 3 カンジダ・アルビカンス p. 305
- 4 腔トリコモナス（トリコモナス原虫） p. 308
- 5 歯肉アメーバと放線菌 p. 311
- 6 淋菌 p. 315
- ▼ コラム 淋病（gonorrhea）の語源 p. 319
- 7 クラミジア・トラコマチス① p. 320
- ▼ コラム コンドームの歴史 p. 325
- 8 クラミジア・トラコマチス② p. 327
- 9 単純ヘルペスウイルス p. 330
- 10 B型肝炎ウイルス p. 334
- 11 梅毒トレポネーマ① p. 339
- 12 梅毒トレポネーマ② p. 342
- 13 軟性下疳菌（デュクレイ菌） p. 345
- 14 がん原性粘膜型ヒトパピローマウイルス p. 347
- 15 良性粘膜型ヒトパピローマウイルス p. 350
- 16 伝染性軟属腫ウイルス p. 354
- 17 疥癬虫（ヒゼンダニ） p. 357
- 18 ケジラミ p. 359
- 19 エイズウィルストトキソプラズマ・ゴンディ p. 362
- 20 赤痢アメーバ p. 366
- 21 常在性細菌による陰部壊疽フルニエ壊疽 p. 370
- 22 子宮内膜の生検標本 p. 373
- ▼ コラム 江戸時代の腎虚は勃起障害のこと p. 375
- あとがき p. 377